



とらいあんどぐる



2016 年 1 ・ 2 月

一音会ミュージックスクール発行

「帽子」

日ごろ、帽子をかぶる習慣のない私が、この冬は帽子をかぶっています。

ふわふわとした黒い帽子です。かぶってみると、とてもあたたかく、帽子もなかなか良いものです。

4年前のある冬の日、めずらしくデパートで買いました。私にしては、とんでもない大奮発でした。

4年前の冬、母は風邪をこじらせ、病院に入院していました。

私は、毎日、病室で過ごしていました。

伯母のケイコさんが、お見舞いに来

た時のことです。

ケイコさんは、母の姉です。ケイコさんも、毎日のように病室に足を運んでくれていました。

その日のケイコさんは、ふわふわした黒い帽子をかぶっていました。

それはとてもすてきな帽子でした。

「あたたかそうね～」

「すてき～」

母と私は、ひとしきりケイコさんの帽子をほめました。

ケイコさんが帰った後も、母は「あの帽子、すてきだったわ」といっていました。気に入った様子です。

そして母は、急に眉間にしわをよせ、

深刻な顔をし、考え込みます。

そういうふるまいをする時は、たいてい、くだらないことを考えているのです。

くだらないことをいう前にはかならず、わざとらしく深刻そうな顔をする人でした。

そして、深刻なことを考えている時には、母はなぜか明るく、なぜかとても楽しそうなのです。

そういう人でした。

そして、声をひそめ、非常に重大なことを打ちあけるような口調になりました。

「あのね・・・あんなふうに、シンプルでもセンスが良くて、目をひくものって、実は・・・」

私も調子をあわせ、深刻な表情を作ります。

さんざん、間をおいた後、母がいいます。

「あのね・・・すーっーっーっーごく、高いのよ」

私は、“深刻しばい”を続け、重々しくうなづきます。

「まちがいない！」

母は、さらにむずかしそうな顔をして、真剣に考えています。

「あれはね～、デパートでね～、そうね～、2万円くらいするかもしれない！」

私はまた同意します。

「そうにちがいない！」

“深刻しばい”に飽きてきた私は、素にもどって、母にいいます。

「お母さんはさ、そもそも身につけるものすべてをタローズハウスで調達しようっていうのが間違いだと思っよ」

母も笑い出し、そして負けずにいいかえします。

「でも、それをいうなら、アヤコのように、食べ物以外のすべてを、ネットオークションに出ている中古を、ただ同然で手に入れようとするのも、間違っていると思うわ」

二人で顔を見あわせ、笑います。

私も負けずに、続けます。

「それとね、お母さんは、同じ服をすりきれて穴があくまで着続けるでしょ。どうかと思うわ～」

母も負けません。

「アヤコはね、服でも靴でも、ネットオークションで予算 1000 円でしょ。どうかと思うわ〜」

二人で声をあわせます。

「デパートって、もう長いこと、行ってないわねえ」

笑いながら母がいました。

「結局、親子は、似たものどうしになってしまうものなのかもしれないわね。アヤコには、節約は教えてきたけれど、上質のきちんとしたものを身につける、ってことを教えてこなかったわ」

私も笑いながら、いいかえます。

「だって、身近にお手本がないもの！」

また笑うしかありません。

いつまでもこうして笑っていたいと思いました。

私は、翌日、デパートに行き、ケイコさんの帽子に似ていて、母に似合いそうな帽子を探しました。

それはケチな私にとっては、たいへん高い買い物でしたが、母の退院祝いにはぴったりだと思いました。

実際、退院の話も出はじめていて、

私は退院をどうやってお祝いしてあげようか、考えていたところでした。

期待以上にすてきな帽子を買うことができました。

私は、その足でいつものように病院に行きましたが、帽子を買ったことを母に伝えたい気持ちをおさえ、帽子のことは、母にはいいませんでした。

退院して家に帰る時、うしろからそっと母にかぶせてあげるつもりだったので。

私なりのサプライズです。

しかし、その帽子が母の頭に乗ることはありませんでした。

行き場のなくなった帽子です。よほど棺に入れようかとも思いました。

けれども私はそうしませんでした。

母だったら絶対、「もったいない！」というからです。



40年以上、ずっとかたわらにいたのです。母が、どんな時にどんな反応をするか、読み違えることはありません。

絶対に「もったいない。ものはちゃんと使いなさい！」というのです。

母は、私のはるか上をいくケチだったからです。

そんなわけで、その帽子は、この冬、私の頭に乗っているのです。

“時間薬”なのでしょうか。母の死以来、ずっとクローゼットから出せずにいた帽子を、4年目の冬になって、私は使うと決めました。

帽子をかぶって、外を歩けば、すぐとなりに母がいるような気持ちになります。

思い返せば、母と私で帽子の話をして笑っていたのは、母がこの世を去る3日前のことでした。

亡くなると知っていたら、母にはもっともっと話したいことがありました。

母からきいておきたいことが、たくさんありました。

母も、伝えたいことは山ほどあったはずです。

なんで、二人して帽子の話なんかしていたのだろうと、思ったこともありました。

二人でお互いのケチを笑いあっているくらいだったら、もっと大事な話ができたと、思っていました。

しかし、そんな他愛ない話をして笑っていられたことを、今は幸せに思います。

「お母さんがこの世を去ったらね・・・」なんていう話をしていなかったことは、母にとっても幸せなことだったに違いありません。

私もこの世を去る時は、病室でつきそう娘に、「いい？ ネットオークションで、1円でも安く落札するコツはね・・・」などと、どうでもいい話をしていたと思っています。

(江口 彩子)



◆今年もよろしくお願ひいたします

新しい年がスタートを切っています。

スタッフ一同、気持ちも新しくして、指導にあたらせていただいています。この新しい年が素晴らしい1年になりますよう、今年も全力を尽くしたいと思います。

今年も、ご家族の皆さまには、多くのご協力をお願いすることになるかと思いますが、どうかよろしくお願ひいたします。



◆「ピアノ・トライ」がスタートしています

今年度はじめて、1月に「ピアノ・トライ」をおこなっています。1年のはじめのお忙しい時期にあたりますが、ご家族の皆さまのご協力のおかげで、とてもスムーズに進行しています。

12月の申し込み日には、たくさんの方にお申し込みをいただき、すべての日程で満員となりました。どうもありがとうございました。

ただし、日によっては、最後の部の最後の出演として、お組みすることができます。また、お申し込み後のご変更で、空きが出た時間帯も、少しだけございます。申し込みそびれてしまった方は、お気軽に、本部までご相談ください。〔03-5966-7711：担当・矢島、伊藤〕

この時期は、風邪をひきやすい季節でもあり、体調をくずしてしまう生徒さんが出てくるのが予想されます。当日、体調が悪い場合には、後の日程に振り替えることができますので、どうぞ無理をなさらず、ご相談ください。

今年度の「ピアノ・トライ」は、下記のとおりです。

①	1月10日(日②)	初級・中級(夏目先生予定)
②	1月11日(月・祝)	初級・中級(能勢先生予定)
③	1月16日(土1・3)	初級・中級(山本先生予定)
④	1月17日(日①)	中級～(夏目先生予定)
⑤	1月23日(土2・4)	初級・中級(山本先生予定)
⑥	1月31日(日)レッスンなし	中級～(夏目先生予定)

※ 進度はあくまでも目安です。

※ 課題曲は、エチュード、もしくはバッハの作品、です。ただし、まだ絵音符の生徒さんや、五線読譜を学んでいる途中の生徒さんは、曲は自由です。

なお、今冬の「ル・コンセール」は、1回目を1月24日(日)に、2回目を2月7日(日)に予定しています。講師演奏は、玉井美子先生です。

◆新年度のレッスン希望表をご提出ください

「今年のあゆみ」とともに、「2016年度変更希望表」、「月謝表」を、お配りしていません(お月謝は今年度と変わりません)。

万が一、お手元にとどいていない場合は、「ショパンはうす」もしくは本部にご連絡ください。

「変更希望表」は、来年度の、レッスン科目、曜日、時間のご希望をおうかがいするものです。たいへんお手数ですが、全員の方にご提出いただきます。変更をご希望ではない場合にも、「変更なし」として、ご提出いただきたいと思います。

新年度からのスケジュールが、はっきりとは分からない場合には、仮の希望をいったんお出しください。スケジュールがはっきりし次第、後日、改めてお出しいただければ大丈夫です。

なお、曜日や時間を変更する場合には、ほとんどの場合、担当が変わることをご理解ください。現在、その日時で受けていらっしゃる生徒さんが、最優先となるため

す。もちろん、ご希望の日時の付近で、現担当の手をあげることができそうな場合には、できるかぎり担当を変えずにお組みするよう、努力いたします。

また、担当が変わる場合にも、個々の生徒さんに、一番適したスタッフがあたるよう、考慮いたしますので、ご安心ください。

ご希望は、担当の先生の目にふれることなく、本部で処理します。ご遠慮なく、率直なご希望をお書きください。

希望表は、2月14日（日）までに、添付の封筒に入れて、ショパンはうす受付にご提出ください。本部あてに郵便でお送りいただくこともできます。

本部住所：〒171-0051 豊島区长崎 3-19-1

◆プリドノフ先生ご夫妻のスケジュール

客員教授のプリドノフ先生ご夫妻の、5月の来日日程が決まりました。

プライベートレッスンの後、2台ピアノによるコンサート、「ジュニアコンサート・オーディション」という流れです。

コンサートの日は、ぜひ皆さま、ご予約をあけておいてください。

レッスン：5月7日（土）・8日（日）・9日（月）

コンサート：5月14日（土）

ジュニアコンサート・オーディション：5月15日（日）

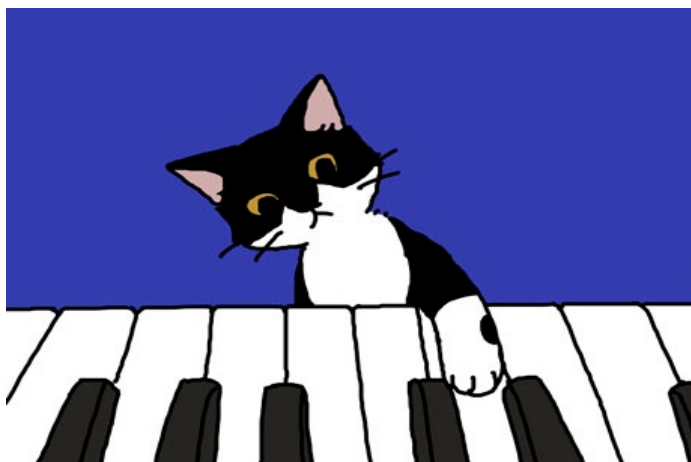
レッスン日程は、多くの方にとって受けやすい土曜日、日曜日を含む日程にさせていただきました。この貴重な機会を、一人でも多くの生徒さんに活用していただきたいと思っています。

まだ時間がありますので、レッスンを受けることを少しでもお考えの生徒さんは、担当の先生と相談しながら、準備を進めると良いと思います。レッスンは、五線読譜が完成した生徒さんなら、どなたでもお受けいただけます。

ご不明の点は、お気軽に本部にご相談ください〔本部電話：03-5966-7711・担当：谷口〕。

30分レッスン……レッスン料（10000円）＋通訳（1600円）→ 11600円
45分レッスン……レッスン料（15000円）＋通訳（2500円）→ 17500円
60分レッスン……レッスン料（20000円）＋通訳（3300円）→ 23300円

コンサートのプログラムや、「ジュニアコンサート・オーディション」の応募要項は、「とらいあんぐる」3月号でお知らせする予定です。



◆テレビ番組取材に協力しました

昨年12月、フジテレビ系列の報道番組「あしたのニュース」に、一音会が取材協力をしました。12月21日に放映されました。

急なお願いだったにもかかわらず、快くご協力くださいました生徒さんご家族の皆さまに、改めて御礼申し上げます。

スクールの生徒さんご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

- * お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。（今年度より、月曜日の夜に行なっております。よろしくお願いたします）
- * ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。